

前立腺がん治療の密封小線源治療を開始します

2021年7月1日
宇治病院 泌尿器科

前立腺がんの治療方法は、①監視療法、②放射線療法(a:外照射療法 b:小線源療法)、③手術療法、④ホルモン療法があり、がんの進行や病期により単独療法又は組合せた併用療法が選ばれます。当院では2021年8月より、放射線療法の密封小線源治療を開始いたします。密封小線源治療は、放射線を出す線源を前立腺内に挿入して内部から放射線を照射してがんを治す治療法です。当院での前立腺がん密封小線源治療は、3日間の入院で治療時間は80分位で終わります。担当医師は多数症例の密封小線源治療経験を有する岡本圭生医師が担当されます。治療をご希望される患者様は当院泌尿器科までお問い合わせください。

【ごあいさつ】

宇治病院で2020年4月から泌尿器科を担当しております岡本圭生です。小生は長年、前立腺がんの診断と治療に携わってまいりました。この中で大学病院で前立腺がんに対する小線源療法を1200例以上の方におこなってきました。その中で「すべては前立腺がん患者さんとそのご家族のために」をミッションに掲げ、前立腺がん患者さんご家族にとっての切なる希望である再発のない前立腺癌治療の確立と普及を実践してきました。そして2021年8月から多くの患者さんから待望していただいていた小線源治療を宇治病院で開始する運びとなりました。前立腺がんの診断と治療については慌てて治療方法を決定する前に、何よりもまず正しい知識を持っていただくことが極めて重要です。そのうえで初回の治療選択が何よりも重要であることを理解していただきたいと思います。小生の小線源治療を希望される方は下記メールアドレスまで直接ご連絡いただければご相談にのらせていただきます。このため宇治病院では前立腺がんの診断・治療に関する前立腺小線源外来もおこなっていますので遠慮なくメールでお問い合わせください。

岡本 圭生: k-okamoto@uji-hosp.or.jp



宇治病院 泌尿器科
岡本 圭生

参考資料:

●治療法の選択にあたり、知っておきたいこと ～再発のない治療を目指して～

<https://www.youtube.com/watch?v=vrVvR7mg0XU>

●ラジオ日経 | 前立腺がん診断されたら 第3回 第4回

<http://www.radionikkei.jp/zenritsusen/>

●前立腺がんフォーラム: NHK エデュケーショナル 放射線療法の項

<https://www.nmp.co.jp/seed/forum/index.html>

●Business Journal | 増加する男性の前立腺がん、再発率わずか2%の画期的な治療法「岡本メソッド」

https://biz-journal.jp/2018/11/post_25481.html

●Business Journal | 前立腺がん、手術後の非再発率99%の小線源治療、画期的な「岡本メソッド」確立

https://biz-journal.jp/2020/04/post_149587.html